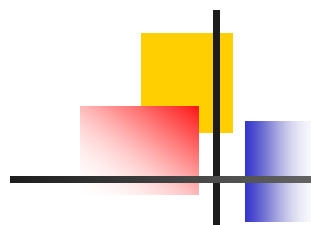


市政施行 60 周年記念事業



河内長野市防災講演会

～災害と市民防災～

2014 年夏は、全国各地で大雨に見舞われました。特に 8 月 20 日未明に広島で発生した土砂災害では、3 時間で総雨量 200 mm を超える豪雨が山麓を襲い、50 カ所以上で土石流が発生し、70 余名の死者、行方不明者が出る局地的大災害となりました。山麓に市街地が位置する河内長野市においても、土砂災害は身近な危機として捉えておく必要があります。

大雨による水害や土砂災害だけではなく、東日本大震災など地震による大災害にも繰り返し見舞われる我が国です。南海トラフ巨大地震の発生確率も高まっています。

今回、巨大地震対策の専門家である河田恵昭先生をお招きし「市民防災」をテーマに災害に備えた自助、共助のポイント等をお話しいたします。

防災講演会の日程などは、以下のとおりです。

- とき 1 月 25 日（日）午前 10 時～12 時（開場は、9 時 30 分）
- 講師 河田恵昭（関西大学教授 社会安全研究センター長）
- ところ ラブリーホール（市立文化会館）小ホール
- 定員 420 名（先着順）
- 参加費 無料
- 主催 河内長野市 地盤工学会関西支部
- 申し込み 電話で危機管理課へ

問い合わせ 河内長野市危機管理課（電話 0721-53-1111）

市制施行60周年記念事業

平成26年度

河内長野市防災講演会

主催：河内長野市 地盤工学会関西支部

2014年夏は、全国各地で大雨に見舞われました。特に8月20日未明に広島で発生した土砂災害は、3時間で総雨量200mmを超える豪雨が山麓を襲い、50カ所以上で土石流が発生し、70余名の死者・行方不明者が出る局地大災害となりました。山麓に市街地の発達する河内長野市においても、土砂災害は身近な危機として捉えておく必要があります。

大雨による水害や土砂災害だけではなくありません。東日本大震災など、地震による大災害にも繰り返し見舞われる我が国です。南海トラフ巨大地震の発生確率も高まっています。

今回、巨大災害対策の専門家である河田恵昭先生をお招きし、「市民防災」をテーマに災害に備えた自助、共助のポイント等をお話いただきます。

当日の内容

- 9:30～ 開場
- 10:00～ 開会挨拶 河内長野市長 芝田啓治
- 10:10～11:50 講演「災害と市民防災」
河田恵昭
(関西大学教授、
社会安全研究センター長)
- 11:50～ 閉会挨拶 地盤工学会関西支部長

河田 恵昭 氏

経歴

昭和21年 大阪生まれ
昭和44年3月 京都大学工学部土木工学科卒業
昭和49年3月 京都大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程修了
平成5年4月 京都大学防災研究所教授
平成8年4月 京都大学防災研究所巨大災害研究センター長
平成17年4月 京都大学防災研究所所長
平成21年4月 関西大学理事、同環境都市工学部教授
平成24年8月 社会安全研究センター長

専門分野 巨大災害、都市災害、危機管理、災害情報、防災・減災学、河川・海岸災害、自然災害論など。著書・論文多数。中央防災会議の各種専門調査会委員など、国や自治体による学識委員会や関係学会の要職多数。

日時 平成27年1月25日(日) 10:00～12:00
(開場9:30～)

定員 420名

場所 河内長野市立文化会館
(ラプリーホール)小ホール

受講料 無料

河内長野市西代町12-46
(南海/近鉄 河内長野駅下車 西へ徒歩7分)

申込み方法 はがき、FAXまたはE-mailにて『河内長野市防災講演会参加希望』と明記の上、住所・氏名・電話番号を記入してお申込みください。
地盤工学会関西支部 HP (<http://www.jgskb.jp/>)から直接お申し込みいただくことも可能です。申込みを受け付けた後、参加証をお送りしますので、当日ご持参下さい。どなたでもご参加いただけます。

申込み期限 平成27年1月16日(金) 必着
なお、当日席に余裕がある場合には、当日受付があります。

申込み先 & 問合わせ先 公益社団法人 地盤工学会関西支部
〒540-0012 大阪市中央区谷町1丁目5番7号
ストークビル天満橋801号
電話 06-6946-0393 FAX 06-6946-0383
E-mail office@jgskb.jp

